



おおふじ



第11号

平成30年 2月 5日

暦の上では春になりました

節分、立春が過ぎ暦の上では春を迎えましたが、とても寒い日が続いています。気象庁の長期予報でも、2月上旬は、気温の低い日が多いとなっています。

節分は、「季節を分ける日」を指し、立春・立夏・立秋・立冬のそれぞれの前日を指していました。中でも春の節分は、立春が一年のはじまりとして尊ばれたため、節分といえば春の節分を指すようになっていったそうです。

節分には豆をまきますが、豆は「魔滅(まめ)」に通じ、無病息災を祈る意味があります。本校のわかたけ学級でも節分にちなんで、自分たちが退治したい鬼を、自分たちが育ててきた落花生を使って、豆まきをして退治していました。



成長の“あかし”

写真は、先日、学校のホームページでも紹介させていただきましたが、避難訓練のときのコマです。休み時間に行われた避難訓練で、運動場から体育館へ避難した子たちの靴です。体育館への入り口の指示だけでしたが、きちんと靴がそろえられていました。子どもたちの判断で、できたことに驚きうれしさを感じました。



また、体育館の中では、人数確認が行われ、はじめのうちは少しざわつきましたが、すぐに静かになり、先生、消防組合の方のお話をきちんと聴くことができました。最近では、朝礼でも静かに行動できる子が多くなったと感じます。“当たり前”のことが“当たり前”にできる子”に向かって、子どもたちの成長を感じる瞬間でした。

さて、市内ではインフルエンザによる学年・学級閉鎖が行われている学校があります。本校でもインフルエンザでお休みの子はいますが、幸いにも学級閉鎖を行うまでには至っていません。この調子で、インフルエンザの広がりを抑えていきたいものです。そして、天候の心配もありますが、2月8日(木)には、延期になった持久走大会が開催されることを楽しみにしています。

(11号文責：校長 森 敦睦)